



— 闇を舞う心象 —
澤田 志功 展

1965年東京都生まれ。1990年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。幻想文学や民俗学をベースに「異形の生命」を表現。今展では木という素材の本質を大切にしながら「リアリティ」のあるかたちを追求。

本館6階 美術画廊【彫刻】



「gate-阿・吽」
H48×W40×D15cm
楠、檜、鉄

9.3 WED ~ 9.8 MON

永守 紋子 漆展
「ひかりきり光る」

2005年京都市立芸術大学美術学部工芸科漆工専攻卒業、2008年金沢卯辰山工芸工房漆芸工房修了。漆を使ったオブジェや器などを制作。20代はグラフィックデザイナーなどの仕事を経てまた漆の世界に戻る。自分の信頼する木地師とともに木材の性質や個性と向き合いながら今までの漆の常識にとらわれないものづくりに励んでいる。透漆を活かした器やパネルを中心に、新作を発表。

本館6階 美術工芸サロン【漆芸】



「光の駒」
H6×Φ11cm
漆

9.3 WED ~ 9.8 MON

小西 潮・江波 富士子 展

本館6階 美術画廊【ガラス】

神奈川県三浦市で制作するガラス作家 小西潮・江波富士子夫妻の二人展。両名はチャダムグラスカンパニー(米国)に勤務後、1998年に潮工房を設立。小西氏は「レースガラス」、江波氏は「ムリーニ」という技法で制作。両者とも、ヴェネチアングラスの技法を用いながらも、日本の暮らしに寄り添えるガラス作品を作ることを制作理念としている。

9.10 WED ~ 9.15 MON



(左)小西 潮「雪月花ワイングラス」
各H18×Φ8cm
ガラス

(右)江波 富士子「花の庭ちりり」
H14×W18×D10.5cm
ガラス

鎌倉 彫
三橋 鎌幽 展

本館6階 美術工芸サロン【彫刻】

1980年鎌倉時代より続く仏師の家系に生まれる。2002年に父 三橋鎌嶺氏に師事。心の鍛錬と仏師の初心を得るため建長寺で禅を学び、2010年には建長寺吉田老師より「鎌幽」の号を拝銘。伝統の鎌倉彫で「青根来」と命名したブルーなど今までにない色漆で現代の感覚に沿う作品を制作している。今展では茶道具をはじめ、彫皿、台、壁掛などライフスタイルを彩る作品を展観。



「青根来鎌倉彫唐花茶碗」
H9.4×Φ12.5cm
栃

9.10 WED ~ 9.15 MON

市川 透 陶展 — 雅 —

本館6階 美術画廊【陶芸】

1973年東京都生まれ。2011年に陶芸家、隠崎隆一氏に師事し、2015年に岡山県で独立。大胆な造形、絢爛な色彩を豪放かつ繊細に融合させた他に類を見ない作品群によって、陶芸界の風雲児として注目されている。ヴィヴィッドな梅花皮や青磁、煌く結晶釉に金やプラチナで加飾した作品は、壮麗かつファッショナブルでもあり、多面的な魅力を放っている。



水指「魔王2025」
H23.9×W14.8×D15.7cm
陶

9.3 WED ~ 9.8 MON

重野 克明 新作展
バラバラの生活

本館6階 美術画廊X【平面】

1975年千葉県に生まれ、2003年東京藝術大学大学院修士課程美術研究科版画専攻を修了。現在は茨城県水戸市で制作。銅版画を中心に、水墨、油彩、ドローイング、陶芸など多彩な技法によって生み出される作品は、一見すると日常のさりげないひとコマの中に独特の世界観が混ざり合う、比類のない表現力で多くのファンを魅了し続けている。

【トークセッション：「バラ色の生活。」】

9月7日(日)午後3時より

重野 克明×留守 玲 (多摩美術大学工芸学科准教授、金属造形家)

9.3 WED ~ 9.22 MON

「野に咲く花のように」
H56.5×W81cm
和紙に顔彩



大谷 郁代 展

本館6階 美術画廊【洋画】

— Pastel・踊る光と佇む時間 —

1981年大阪府生まれ。2000年大阪市立工芸高等学校美術科洋画コース卒業後、2004年広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻卒業。パステルと木炭で描く独自の技法で、柔らかく温かみのある女性像や静物を描く、約25点の展覧。

9.10 WED ~ 9.15 MON



「マカロンとバレリーナ」
P6号

中村 貴弥 展

本館6階 美術画廊【日本画】

— クリスタル ランドスケープ — 標を求めて —

1982年京都府に生まれる。2004年京都造形芸術大学美術工芸学科日本画コース卒業。(卒業制作 康耀堂美術館賞)2005年、千住博氏に師事しニューヨークのアトリエにて3年間アシスタントを勤める。

独自の結晶化の技法を用いて、「結晶の月」を中心に描き、人々が人生の「標-しるべ-」を感じられるような作品約25点の発表。

9.17 WED ~ 9.22 MON

「クリスタル ムーンスケープ-朝の標-」
S10号



襲名記念

十六代 坂倉 新兵衛 展

本館6階 美術画廊【陶芸】

約360年の歴史を持つ深川萩の窯元 坂倉新兵衛窯の次代を担う陶芸家。大道土をはじめとした萩の伝統的な土に加え、身近な場所で自ら採取した土も取り入れながら制作に取り組む。素材の質感を活かし、茶陶やオブジェなど幅広い作品づくりに励んでいる。2024年に十六代坂倉新兵衛を襲名した記念展。

9.17 WED~9.22 MON



「茶碗」
H9×W12.5×D13cm
陶

新井 寛生 漆芸展

—光の階調—

本館6階 美術工芸サロン【漆芸】

東京藝術大学を卒業し、現在は母校でテクニカルインストラクターを務める。埼玉県出身。高校時代、金沢に移転前の東京国立近代美術館工芸館で漆作品を見て感動し、漆の道に進むことを決めた。日本橋高島屋初個展。

9.17 WED~9.22 MON



「夜梅」
H12×W28×D23cm
漆

人間国宝
鈴木 藏 展

本館6階 美術画廊【陶芸】

1934年、岐阜県土岐市生まれ。1994年に「志野」の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。桃山陶芸の原点を踏まえながらも、古陶の形式に拠り所を求めることなく、「現代の志野」を追求。1960年代後半にはガス窯による焼成を本格化させ、自らの創意溢れる作品を次々と発表し高評を博している。本展では、力強さと格調の高さを併せ持つ志野茶碗を中心に、瀬戸黒茶碗や花器などの作品群を一堂に展観。



(上) 「志野茶碗」
H11.2×W12.9×D12.4cm
(下) 「志野茶碗」
H9.8×W13.6×D13.4cm

9.24 WED~9.29 MON

秋山 隆 木彫展

本館6階 美術工芸サロン【彫刻】

1975年広島県に生まれ、2000年広島市立大学芸術学研究科彫刻専攻修了後、二科展に作品を発表。動物をモチーフにして、近年は「自然と人工」をテーマにそれぞれがもつ変化、内面を彫り起こせるよう木彫で制作。有機的な曲線と人工的な直線のコントラストの作品を約15点展観。

9.24 WED~9.29 MON



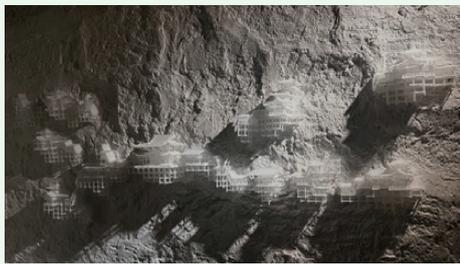
「寂び」
H20×W35×D7cm
樟

藤田 朋一 展
Japanesque

本館6階 美術画廊X【現代アート】

1976年千葉県生まれ、1997年飛騨国際工芸学園木工科卒業。2021年岡本太郎現代芸術賞入選。美術画廊Xでは3度目の個展。日本をより深く知りたいと考え、各地の神社仏閣や伝統的な日本建築を訪ね自身のイメージと掛け合わせた伝統的な建築表現を再構築した立体作品を制作。今回は浮遊感のある白や黒のモノトーンを中心に展観。

9.24 WED~10.13 MON



「鳳凰堂—壁に立つ社寺—」
アクリル

清水 真由美 展
—細密練込の器—

本館2階 アートアベニュー【陶芸】

1970年千葉県に生まれ、1991年武蔵野美術大学短期大学部専攻科工芸デザイン専攻陶磁コース卒業。シンプルな形状でありながら、練り込み技法で制作される作品は、誰もが驚くほどの繊細な文様が丁寧に収まっている。色使いも美しく、凛とした佇まいの茶器・酒器・蓋物を展観。

9.24 WED~11.17 MON



「cup」シリーズ

		9月																																					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14日	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21日	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28日	29月	30月								
本館6階	美術画廊	宮本雅夫 鵜田尚男	準備会場	澤田 志功 展						準備会場	小西 潮・江波 富士子 展						準備会場	中村 貴弥 展						準備会場	人間国宝 鈴木 藏 展						準備会場								
				市川 透 陶展							大谷 郁代 展							十六代 坂倉 新兵衛 展																					
	美術画廊X	金保洋	準備会場	重野 克明 展																														準備会場	藤田 朋一 展 ※10月13日(月・祝)まで				
2本階	美術工芸サロン	アイザワリエ	準備会場	永守 紋子 漆展						準備会場	三橋 鎌幽 展						準備会場	新井 寛生 漆芸展						準備会場	秋山 隆 木彫展						準備会場								
	アートアベニュー	木下 結衣 展 resuscitation																							準備会場	清水 真由美 展 ※11月17日(月)まで													

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。

高島屋 美術

検索

